

国民保護に関する訓練の実施等について

平成30年10月19日
八戸市国民保護協議会

報告事項

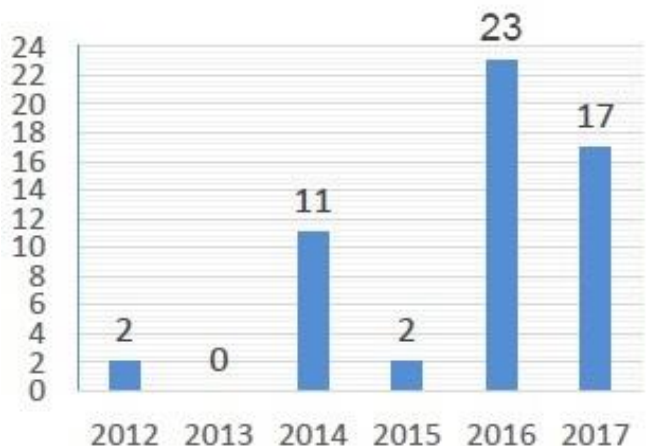
- 1 北朝鮮による弾道ミサイル発射事案
- 2 平成29年度弾道ミサイルを想定した住民避難行動訓練
- 3 平成29年度青森県・青森市国民保護共同図上訓練
- 4 テロ対策推進会議パートナーシップあおもり

1 北朝鮮による弾道ミサイル発射事案

北朝鮮による核実験・弾道ミサイル発射事案

- 2016年来、**3回**の核実験の他、**40発**もの弾道ミサイルの発射を強行
- 2017年後半は特に、**新型**を含む**長射程**の弾道ミサイルを繰り返し発射

近年の北朝鮮による弾道ミサイル発射数



2月12日
第3回核実験

1月6日
第4回核実験
9月9日
第5回核実験

9月3日
第6回核実験

先軍政治

軍事をすべての
事業に優先させる

並進路線

経済建設と核武力
建設を並進させる

北朝鮮の弾道ミサイル発射数・核実験回数

指導者	年	弾道ミサイル 発射数	核実験
金日成主席 	1993年	不明	—
金正日国防委員長 	1994年 ～ 2011年	16発 (1998年、 2006年、 2009年に発 射)	2回
金正恩国务委員長 	2012年 ～ 現在	55発	4回

※防衛省公表「北朝鮮による核実験・弾道ミサイル開発について」より

2016年に行われた北朝鮮による核実験・弾道ミサイル発射事案

核実験 弾道ミサイル発射

日付	挑発の概要	場所	弾種	飛翔距離
16.01.06	4回目の核実験を実施	豊溪里(プンゲリ)		
16.02.07	「人工衛星」と称する弾道ミサイルを発射	東倉里(トンチャンリ)	テポドン2派生型(推定)	約2,500km(2段目落下地点)
16.03.10	弾道ミサイル2発を発射	西岸・南浦(ナンポ)付近	スカッド(推定)	約500km
16.03.18	弾道ミサイル1発を発射	西岸・農川(スクチョン)付近	ノドン(推定)	約800km
16.04.15	弾道ミサイル1発を発射	東岸地域	ムスダン(指摘)	不明、失敗と推定
16.04.23	弾道ミサイル1発を発射	新浦(シンポ)沖	SLBM(推定)	約30km(韓国合参)
16.04.28	弾道ミサイル2発を発射	元山(ウォンサン)	ムスダン(推定)	不明、失敗と推定
16.05.31	弾道ミサイル1発を発射	元山(ウォンサン)	ムスダン(可能性)	不明、失敗と推定
16.06.22	弾道ミサイル2発を発射	元山(ウォンサン)	ムスダン(推定)	1発目: 約100km(最大) 2発目: 約400km
16.07.09	弾道ミサイル1発を発射	新浦(シンポ)沖	SLBM(推定)	数km(韓国報道)
16.07.19	弾道ミサイル3発を発射	西岸・黄州(ファンジュ)付近	スカッド及びノドン(推定)	1発目: 約400km 3発目: 約500km
16.08.03	弾道ミサイル2発を発射	西岸・殷栗(ウンニェル)付近	ノドン(推定)	約1,000km (1発は発射直後に爆発)
16.08.24	弾道ミサイル1発を発射	新浦(シンポ)付近	SLBM(推定)	約500km
16.09.05	弾道ミサイル3発を発射	西岸・黄州(ファンジュ)付近	スカッドER(推定)	約1,000km
16.09.09	5回目の核実験を実施	豊溪里(プンゲリ)		
16.10.15	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城(クソン)付近	ムスダン(推定)	不明、失敗と推定
16.10.20	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城(クソン)付近	ムスダン(推定)	不明、失敗と推定

※防衛省公表「北朝鮮による核実験・弾道ミサイル開発について」より

2017年に行われた北朝鮮による核実験・弾道ミサイル発射事案

核実験 弾道ミサイル発射

日付	挑発の概要	場所	弾種	飛翔距離
17.02.12	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城(クソン)付近	固体燃料を使用した新型の地上発射型弾道ミサイル(推定)	約500km
17.03.06	弾道ミサイル4発を発射	西岸・東倉里(トンチャンリ)付近	スカッドER(推定)	約1,000km
17.03.22	弾道ミサイル1発を発射	元山(ウォンサン)付近	分析中	発射後数秒以内に爆発、失敗と推定
17.04.05	弾道ミサイル1発を発射	新浦(シンポ)付近	分析中	約60km
17.04.16	弾道ミサイル1発を発射	新浦(シンポ)付近	分析中	発射直後に爆発、失敗と推定
17.04.29	弾道ミサイル1発を発射	北倉(ブクチャン)付近	分析中	約50km離れた内陸部に落下、失敗と推定
17.05.14	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城(クソン)付近	IRBM級の新型弾道ミサイル(推定)	約800km
17.05.21	弾道ミサイル1発を発射	北倉(ブクチャン)付近	新型弾道ミサイル(17.02.12と同型)(推定)	約500km
17.05.29	弾道ミサイル1発を発射	元山(ウォンサン)付近	スカッドを改良した新型弾道ミサイル(推定)	約400km
17.07.04	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城(クソン)付近	ICBM級の新型弾道ミサイル(推定)	約900km
17.07.28	弾道ミサイル1発を発射	舞坪里(ムピョンニ)付近	ICBM級の新型弾道ミサイル(17.07.04と同型)(推定)	約1,000km
17.08.29	弾道ミサイル1発を発射	順安(スナン)付近	IRBM級の新型弾道ミサイル(17.05.14と同型)(推定)	約2,700km
17.09.03	6回目の核実験を実施	豊溪里(ブンゲリ)		
17.09.15	弾道ミサイル1発を発射	順安(スナン)付近	IRBM級の新型弾道ミサイル(17.05.14及び08.29と同型)(推定)	約3,700km
17.11.29	弾道ミサイル1発を発射	平城(ピョンソン)付近	ICBM級の新型弾道ミサイル(17.07.04及び07.28とは異なる型)(推定)	約1,000km

※防衛省公表「北朝鮮による核実験・弾道ミサイル開発について」より

平成29年8月29日の北朝鮮による弾道ミサイルの発射について

1 ミサイル発射の状況

- ・ 5時58分頃 北朝鮮西岸から東北東方向にミサイル発射。
- ・ 6時05分～07分頃 北海道渡島半島付近及び襟裳岬付近の上空を太平洋に向けて通過。
- ・ 6時12分頃 襟裳岬の東約1,180kmの太平洋に落下したものと推定。

2 情報伝達の状況

- ・ Em-Net（緊急情報ネットワークシステム）による市への情報伝達。
- ・ 防災行政無線（Jアラートとの連携）による市民への情報伝達。

3 被害状況等

被害や落下物に関する情報はなし

平成29年9月15日の北朝鮮による弾道ミサイルの発射について

1 ミサイル発射の状況

- ・ 6時57分頃 北朝鮮西岸から東北東方向にミサイル発射。
- ・ 7時04分～06分頃 北海道渡島半島付近及び襟裳岬付近の上空を太平洋に向けて通過。
- ・ 7時16分頃 襟裳岬の東約2,200kmの太平洋に落下したものと推定。

2 情報伝達の状況

- ・ Em-Net（緊急情報ネットワークシステム）による市への情報伝達。
- ・ 防災行政無線（Jアラートとの連携）による市民への情報伝達。

3 被害状況等

被害や落下物に関する情報はなし

北朝鮮による弾道ミサイルの発射に対する市の対応について

- 平成29年8月29日(火)、9月15日(金)のJアラートからの情報を受け、防災危機管理課全職員が参集し、情報収集等を行った。
- 平成29年9月9日(土)、10月10日(火)及び10月18日(水)において、ミサイル発射予想情報を受け、早朝から職員2名が待機した。
- 平成29年11月29日(水)午前3時18分頃の弾道ミサイル発射情報(排他的経済水域内の落下と推定)以後も警戒態勢を継続した。

2 平成29年度弾道ミサイルを想定した住民避難行動訓練

(1) 実施日

平成29年12月21日(木) 14:00~15:00

(2) 場所

南郷地区（南郷小学校、南郷事務所、南郷公民館、道の駅なんごう）

(3) 参加機関等（参加者約300名）

① 訓練統監：市長

② 訓練統制：市民防災部職員

③ プレーヤー

・青森県危機管理局

・八戸警察署

・八戸消防本部、八戸消防署南郷分遣所・八戸市消防団南郷第1分団

・なんごうプラザ株式会社（道の駅なんごう）

・南郷西地区自主防災協議会

・NTTドコモ（画像伝送）

・八戸市（南郷小学校、南郷事務所、南郷公民館）

(4) 訓練想定

×国から弾道ミサイルが発射され、我が国に飛来する可能性があるとして判明した想定で実施。



南郷小学校



南郷事務所



道の駅なんごう（ジャズの館）



八戸市長 講評

3 平成29年度青森県・青森市国民保護共同図上訓練

(1) 実施日

平成30年2月7日(水) 10:00～16:00

(2) 場所

青森市（青森県庁防災対策本部室、青森市役所、青森県庁会議室）

(3) 参加機関等

- ① 統監：青森県知事 副統監：青森市長、青森県危機管理局長
- ② プレーヤー
 - ・青森県対策本部（本部員、対策連絡員、部局連絡員、関係機関連絡員）
 - ・青森市対策本部（本部員、事務局員、部局連絡員、関係機関連絡員）
- ③ コントローラー ※ 当市から2名参加
 - ・訓練統括：青森県防災危機管理課危機管理対策監
 - ・企画統制班、状況付与・レスポンス班、評価班、訓練支援班

(4) 訓練想定

テロに反対する国際会議の関連シンポジウム開催が予定されている青森県内の複数の場所において、爆発物と思われる不審物が発見され、また、JR青森駅で化学散布事案が発生し、多数の死傷者が発生する。また、県内の別の交通機関の大量輸送機関施設においても、爆破事案が発生する。



4 テロ対策推進会議パートナーシップあおもり

(1) 設立日

平成30年4月18日

(2) 目的

参画する団体・事業者等官民が連携して、テロを未然に防止し、安全・安心なまちづくりの実現を目的とする。

(3) 構成団体

目的に賛同する団体・事業者等により構成（114団体）

・官公庁、金融、交通機関、空港・港湾関係、爆発物原料、物流、大規模集客施設、ライフライン、警察（事務局：青森県警察本部）

(4) 活動内容

- ① テロの未然防止に向けた情報共有
- ② 危機管理意識の高揚と自主警備体制の充実
- ③ 通報・連絡体制の確立と各種訓練等の実施
- ④ その他パートナーシップの目的達成に必要な活動

(5) 活動状況

国際港埠頭・水域保安及びテロ対策訓練（八戸港及び青森港で実施）

八戸港埠頭・水域保安及びテロ対策訓練 (平成30年9月19日(水) 八戸港河原木1号埠頭)



不審者捕捉訓練



避難誘導訓練



海上捕捉訓練



船内検索・捕捉訓練